

校長室の窓



令和3年度1学期終業式に

まず、今回の豪雨災害についてです。

皆さんの中で被害にあわれた方に関係する方がいるかもしれません。ショックを受けていることと思います。何か不安なことがあったら、だれでも話しやすい人に相談してください。

さて、今日は、私から皆さんに、3点話をします。

1点目は、新型コロナウイルス感染症防止についてです。ぜひ皆さんの「**優しさと強さ**」を発揮してください。自分の大切な人を守りたい人は**その優しい心**でマスク、手指の消毒、換気、密（密閉、密集、密接すべて）を避けた生活をしてください。このような生活はもう我慢ばかりでつらいと思いますが、**強い意志**で続けてください。皆さんの「優しさと強さ」が試されています。今年の夏休み、昨年と違うのは変異株の出現です。自分だけは大丈夫、というのは100パーセント間違いです。皆さんの「優しさと強さ」を発揮してください。また、熱中症に十分注意して、マスクを外す場面では人と十分な距離を取るなど気を付けて、特に運動等するときは、しっかりと水分補給をしながら、取り組んでください。

2点目は、計画的な学習と夏休みならではの過ごし方です。夏休みはここまで学習してきた学習を振り返ったり、定着させたりする良いチャンスです。「**着実に努力**」。この夏休みに「やったぞ」といえるようもう一度、自分の学習状況を振り返って、計画的に学習に取り組むようにしてください。期待しています。また、2021年、高校1年、2年、3年の夏休みは今回限り、何かに挑戦してみましょう。「**面白い**」と**思うことを見つけるチャンス**です。

最後に3点目です。皆さんは平成28年7月26日の事件を覚えていますか。午前2時頃、事件は発生しました。発生場所は、相模原市にある県立の障がい者施設「津久井やまゆり園」です。当時、津久井やまゆり園の元職員が施設に侵入し、施設の利用者や職員が元職員に刺され、19人の方がなくなり、27人の方が、負傷するという、大変痛ましい事件が発生しました。

この事件は、障がい者に対する偏見や差別的思考から引き起こされたと伝えられ、障がい者やそのご家族のみならず、多くの人々に、言いようもない衝撃と不安を与えました。この事件は、大きな悲しみであり、強い怒りを感じざるを得ません。このような事件が二度と繰り返されないよう、この悲しみを力に、神奈川県と県議会は「ともに生きる社会、かながわ憲章」を定めています。その内容は本当に「当たり前のこと」です。

あたたかい心をもってすべての人の命を大切にする、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現する、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除する、県民すべてで取り組む。

これは生きている人間としてどこにいても「当たり前」のことと私は思います。命の大切さ、偏見や差別のおなしさなど、皆さんが心にとめてほしいと思います。**世の中の人、全てが「生きる価値のある」人**です。もちろん、**皆さん自身も価値ある人間の一人**です。私は、人間の多様な価値をどのくらい具体的に表せるかが人間としての幅でもあると考えています。どうぞ、皆さんも、この夏、**様々な「人」の在り方を考え、自分の人間としての幅を広げられるよう**、期待しています。それでは、夏休み明け、また、皆さんの元気な顔を見せてください。これが今日の私の一番の願いです。